

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

令和5年度

法人名	社会福祉法人 憲章会	代表者	理事長 石島 衛	法人・ 事業所 の特徴	当法人は役員・職員の資質向上のための研修等の実施をしています。南城市からの委託事業「高齢者一時保護事業」「食の自立支援」「生活管理指導員派遣事業」や「夜間・休日相談事業」の受託をしています。小規模多機能事業所では、公文学習療法を導入し認知機能低下防止や個々の生きがいを支援しています。また、利用者自身の「～したい」想いを尊重し、地域の行事や交流ができるよう考えていきます。コロナ禍前の実績として、生まれ育った地への訪問「ふるさと訪問 in 石垣島・宮古島・久米島・台湾」を年1回実施していました。
事業所名	東雲の丘小規模多機能型居宅介護事業所	管理者	管理者 平田いづみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	4人	1人	1人	1人	0人	8人	0人	17人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	運営推進会議での意見や確認ができるよう、また職員を知って貰うよう全職員が交代で会議へ参加を行う。	・出来たこと、出来ていないことを自分たちでしっかり把握できていると思う。	・各自の評価が一定にまとまっており、職員間の情報共有や意識のベクトルが揃っている様に感じました。	日々の働き（気付き）を大切に、更に運営推進会議（資料含む）が充実できるように努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	清掃担当を決め玄関先の清掃を行っていく。	・清潔で居心地のいい空間になっている。 ・利用者の皆さんが落ち着いて過ごせる環境になっている。	・玄関にスリッパも置かれ活動の様子も掲示してあり良い。 ・現在の清潔な環境を維持してほしい。	清潔を保つ為、また感染症予防の為、物品の整理や居室清掃を行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	引き続き広報誌（隔週）を作成し、本人、家族さん、各事業所へ配布を行い事業所の様子を知って頂けるよう努める。	・見やすい広報誌に心がけていると思う。 ・事業所の広報誌が運営推進会議でも資料として確認でき、活動の様子がわかりやすい。	・事業所を地域へどう周知していくかが課題だと思います。 ・	これまで同様広報誌を作成し、運営推進会議での提供や家族さんへ配布すると同時に SNS の活用を行っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者地域の民生員さんへ依頼しミニデイサービスへ参加を行う。	・ミニデイの参加は諸般の社会情勢から実現できなかったのは仕方ないと思う。でも外出等のイベントを工夫して実践されたことは評価したい。	・地域に出て顔が見える関係作りは、まず信頼関係を築くことが大切だと思いますが事業所として取り組んで頂きながら「包括支援センター」とも上手く連携をとっていけたらと思います。 ・社協で取り組んでいる事業に相談員として参加してはどうでしょうか。	地域交流ができるよう民生員さんへ依頼を行う。また、「ゆいハート地域づくり事業」へ相談員として参加していく。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議にて事例検討を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討がありヒヤリハット報告や活動の様子が写真付きで見やすく取組み内容がわかりやすく資料作成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議内容を職員へ申し送る事ができなかったとあった。専門的な意見や地域の声も含まれているので、職員同士共有してほしい。 ・会議を意見交換の場だけでなく、構成員との交流も考えて運営しており楽しい会議となっている。 	<p>会議の中で地域の取組みを確認し、一緒に計画や参加を行っている。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>BCP 計画を完成し共有していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP 計画は未完成。3月末に完成予定をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練を行い改善点を見つけてほしい。 ・防災訓練に参加できて、利用者の移動等の変りを知る事ができて良かった。 ・事業所は新しい建物で高台にあり、災害時に直接的被害は少ないと思われるが、在宅におられる利用者様の安否確認方法や職員の招集についても確認できればと思う。 	<p>BCP 計画(事業継続計画)の資料を提供し共有を行っている。</p>